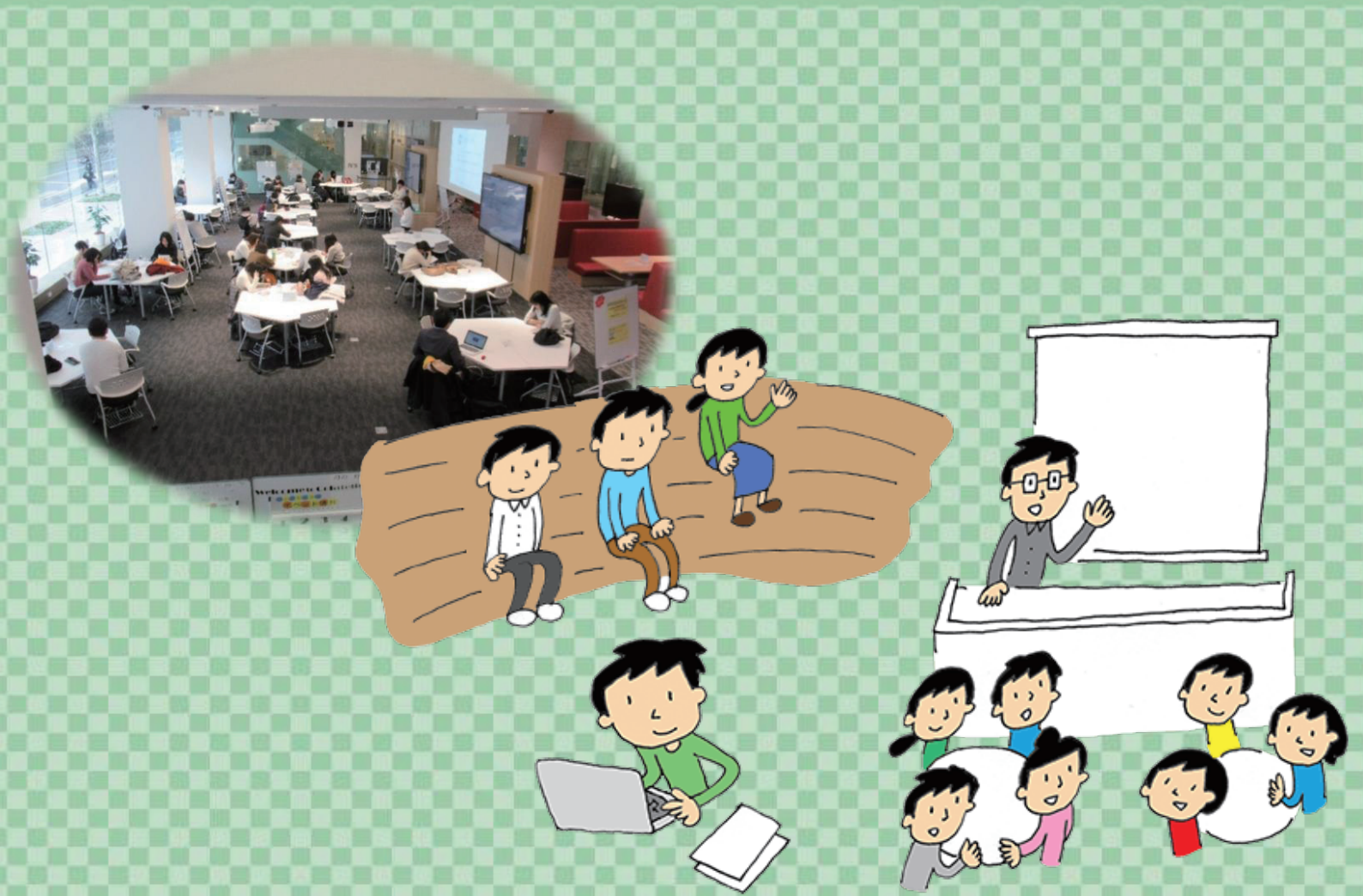
ラーニング・コモンズ「コラトリエ」

ルーブリック・チェックリスト

活用ガイドブック

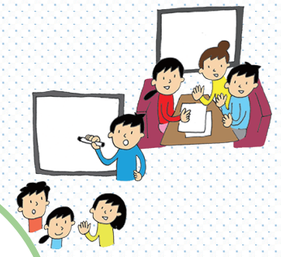


ルーブリックとは

ルーブリックは、「成功の度合いを示す数段階程度の尺度と、尺度に示されたレベルのそれぞれに対応するパフォーマンスの特徴を記した記述語からなる評価基準表（西岡 2009 p14）」です。「評価の観点」や「評価の基準」を提示することで、レポートやプレゼンテーション、実習のなどのパフォーマンス課題を評価することができます。ルーブリックには、ある教科や領域で共通する**一般評価基準**や、それをもとに課題ごとに作っていく**課題別評価基準**があります（松下 2007）。

ルーブリックを活用することで、指導と評価の一体化やゴールを目指した授業設計に取り組みやすくなります。また、具体的な評価基準を事前に伝えることで、学習者に目標を意識させることができます。　（※参考文献は裏表紙参照）

コラトリエ ルーブリックの特徴



- ライティング & プレゼンテーション
- 課題の問題や修正点がわかる！
- 学習支援 ＋ さまざまな科目で活用

●ライティングルーブリック

コラトリエ　ライティングルーブリック　（Ver.2.0）

観点		すばらしい！	できている（まずはここを目指そう！）	改善するところがある	基本を確認しよう
文章構成	①タイトル	レポートや論文の特色が端的に示されており、読み手を引き付けるタイトルになっている 例○重要なキーワードが含まれている	本文の内容が想像できる具体的なタイトルになっている	抽象度が高いため、より具体的なタイトルにする必要がある 例×「日本経済について」	タイトルがない 本文の内容とタイトルが一致していない
文章構成	②序論	レポートや論文の全体像が把握できる序論になっており、そのテーマや問題を取り上げた意義が伝わるものになっている	テーマ背景、問いや目的、本論の予告等、序論に必要な要素がすべて書かれており、つながりがある	序論に必要な要素が欠けている つながりが不十分である 例×背景の記述が不十分、 本論の予告がない、つながりがない	レポートや論文の問いや目的が書かれていない
文章構成	③本論	本論がバランスよく構成され、論理的に結論が導かれており、説得力がある本論になっている	本論の構成が論理的に組み立てられている	本論の構成に改善が必要である 例×構成の順序がおかしい 抜けがある、バランスが良くない	思いついたままに書いている 構成が読み取れない
文章構成	④結論	本論の内容を踏まえた結論が明確かつ簡潔にまとめられており、レポートや論文の意義や価値が正確に述べられている	レポートや論文の目的、結論（まとめや成果）、今後の課題等、結論に必要な要素がすべて入っている	結論に必要な要素が欠けていたり、不要な文章が入っている 例×本論と関係がないことや決意、感想など	結論がない
文章表現	⑤段落の組立	全ての段落において話題が明確であり、各段落の分量のバランスがよい	各段落において話題（伝えたいこと）が１つに整理されている 例○段落のはじめの一文にその段落の要点やキーワードが含まれている	段落分けは意識されているが、各段落の話題が１つに整理されていない 例×一つの段落が長すぎる 段落の途中で話題が変わっている	段落分けが意識されていない
文章表現	⑥読みやすさ	読み手を意識した文章である 例○読み手にない背景の説明 読みやすい読点の位置 後続の内容が予測できる	一文一義の原則が守られており、文と文のつながりが良い 例○接続表現が適切	一文一義の原則が守られているが、文と文のつながりがよくないところがある 例×不適切な逆接、「また」の多用 唐突な文がある	一文一義の原則(1つの文章に1つの事柄を書くこと）が守られていないところがある 例×一文が長すぎる 言葉が重複している等、整理できていない
文章表現	⑦表現の適切さ	専門用語や語彙・表現を適切に使い分け、正確に事実や意見が述べられている	レポートや論文にふさわしい表現で述べられている 例○書き言葉 客観的な表現（～と考えられる等）	レポートや論文にふさわしくない表現がある 例×話し言葉、体言止め 主観的な表現（思う、感じる等） 比喩表現、あいまいな表現、略語	文体が「である調」に統一されていない 文法、語彙に誤りがある 例×主語と述語が対応していない 「てにをは」がおかしい、誤字脱字
文章表現	⑧図表	効果的に図表を用いて、複雑な情報をわかりやすく伝えている 例○図表で伝えるべき情報と本文で伝えるべき情報を適切に区別できている	適切かつ見やすい図表が作成され、本文から図表が参照できるようになっている 例○文字の大きさや配色、配置が見やすいよう工夫されている	図表が適切に作成されていないところがある 例×行と列が逆 データの単位や表記が不適切 図表番号やタイトルがない 本文から図表番号への参照がない	必要に応じて図表が用いられていない、 もしくは図表の種類が不適切なところがある 例×図表が用いられていない グラフの種類が目的に合っていない 不要なグラフや表がある
内容	⑨主張	これまでの先行研究を批判的に検討した上で、具体的な問いが立てられており、自分なりの考えが書けている	問い（目的）と主張（結論）が対応しており、内容が一貫している	問いが明確に示されているが、主張（結論）が問い（目的）に対応していない	問いが不明確である
内容	⑩根拠 ※論証型	異なる主張について比較、検討されており、限界点を踏まえた上で、自らの主張に対する意義や価値について具体的に考察されている	全体的に適切な根拠に基づいて主張が述べられている	客観的な根拠に基づいて主張が述べられているが、不足/不適切なところがある 例×根拠がない、論理の飛躍、矛盾 過大な主張	全体的に、客観的な根拠に基づいて主張が述べられていない
内容	⑪結果と考察 ※実証型	結果に基づいて具体的に考察され、限界点を踏まえた上で、結果の意義や価値について具体的に記述されている	結果:データを適切に読み取り、事実に基づいて客観的に結果が述べられている 考察:結果に基づいた考察が述べられている	結果:結果について記述しているが、データの不正確な読み取りや主観的な感想が混在している 例×「予想外に多かった」等 考察:結果に基づいていない飛躍した考察がある	結果:データをただ羅列している 考察:結果の提示で終わっており、考察がない
情報	⑫収集	テーマに関する内容を十分に理解し、主張を述べる上で適切な情報が集められている 例○テーマに関する重要な文献 最新の研究、データ	複数の信頼性の高い資料を用いており、テーマに関する情報が十分に調べられている 例○学術論文（◎査読付き） 専門書、公的資料等	テーマに関する情報が十分に調べられていない 例×参考（引用）文献が一つしかない インターネット上の情報しかない	参考（引用）文献がない、もしくは参考(引用）文献として信頼性の低い資料が用いられている 例×Wikipedia、ブログ、まとめサイト、 孫引き
情報	⑬引用	主張を裏付けるために必要な引用が効果的になされている 例○裏付けとして適切な情報が引用されている 不要または意図が読み取れない引用がない 前後の文脈に合わせて引用されている	適切な方法で引用され、引用箇所が明確である 例○直接引用：引用箇所を「　」でくくる ブロック引用：行頭字下げ（2～3字分）	引用されているが方法が不適切なところがある 例×間接引用が長すぎる	出典が不明確なところがあり、剽窃（コピペ）が疑われる

※専門分野や課題によって求められるものが異なる場合があります。必ず教員の指示を確認してください。　東北学院大学ラーニング・コモンズ「コラトリエ」　2019.07

●ライティングチェックリスト

	観点	内容	✔
1	提出条件	課題の分量（文字数、ページ数）が守られているか	
2		提出条件（提出期限、提出方法等）が守られているか	
3	体裁	表紙がつけられているか ※複数ページの場合のみ	
4		個人情報（学部学科グループ・学生番号・氏名）が書かれているか	
5		授業情報（授業名、教員名、〇曜〇時間目）が書かれているか	
6		ページ設定が適切か ※基本的には初期設定（A4サイズ、余白標準）	
7		文字サイズやフォントが統一されているか ※初期設定（文字サイズ10.5、フォント本文明朝体、見出しゴシック体）	
8	本文	段落の始めが１字下げられているか	
9		不要な空白、改行がないか 例×段落間に空行を入れる、節間を2行以上空ける等	
10		用語や英数字（原則半角）の表記が統一されているか	
11		図表の番号が適切か	
12	文献リスト	参考（引用）文献がすべてリストに挙げられているか	
13		脚注、参考（引用）文献リストの書き方が統一されているか ※書式は分野ごとに異なります。該当分野の文献リストを参考にしましょう	
14		インターネット上の文献を参照した場合、閲覧日が記載されているか	
15		参考（引用）文献リストの順（著者名50音順・アルファベット順など）が統一されているか	

※分野によって引用文献と参考文献を分けて書く場合もあります。

コラトリエ ルーブリックの使い方

コラトリエ ルーブリックは、学生がレポートやプレゼンテーションなどの課題に取り組む際に活用する**自己点検ツール**です。課題に取り組む前に、どのような点に気を付ける必要があるのか確認したり、自分の成果物を点検する際に活用してもらうことを想定しています。授業の内容や目的に合わせて、観点を選んで使うこともできます。

ルーブリックは４段階になっています。まずは「**できている**」を目指してもらうことを想定しています。また、さらに良い内容の例として「すばらしい」を設けています。

自己点検の結果、例を参考にしながら学生が自分で問題点を解決できるように設計していますが、自分での解決が難しい際には、**コラトリエで実施している学習相談**の利用を問題解決方法の１つとして想定しています。

コラトリエ ルーブリックができるまで

①事例収集 → ②内容検討・作成 → ③教員の意見収集 @アクティブラーニング学習会 → ④修正 → ⑤完成（展開・活用）

定期的に確認・修正

●プレゼンテーションルーブリック

コラトリエ　プレゼンテーションルーブリック　（Ver.2.0）

観点		すばらしい！	できている（まずはここを目指そう！）	改善するところがある	基本を確認しよう
スライド構成	①タイトル	研究や発表の特色が端的に示されており、聞き手を引き付けるタイトルになっている 例○重要なキーワードが含まれている	発表内容が想像できる具体的なタイトルになっている	抽象度が高いため、より具体的なタイトルにする必要がある 例×「日本経済について」	タイトルがない 発表内容とタイトルが一致していない
	②導入	研究や発表の全体像が把握できる導入になっており、そのテーマや問題を取り上げた意義が伝わるものになっている	導入に必要な要素（研究や発表の背景や目的、本論の予告）が書かれており、発表全体の構成が聞き手に伝わっている 例○目次	研究や発表の目的が書かれているが、発表全体の構成が聞き手に伝わらない	研究や発表の目的が不明確である
	③展開	バランスよく構成され、論理的に結論が導かれており、説得力がある	構成が論理的に組み立てられている、つながりが良い	構成に改善が必要である 例×構成の順序がおかしい 抜けがある、バランスが良くない	論理立てて主張が述べられていない
	④まとめ	展開の内容を踏まえた結論が明確かつ簡潔にまとめられており、研究や発表の意義や価値が正確に述べられている	研究や発表の目的、結論、今後の課題等、まとめに必要な要素がすべて入っている	まとめに必要な要素が欠けていたり、不要な要素が入っている 例×内容と関係がないことや決意、感想など	まとめがない
デザイン	⑤文字	聞き手が見やすいようにデザインが工夫されている 例○見やすい文字の大きさやフォント、配置配色、統一感のあるデザイン	伝えたいことが構造化され端的に表現されている 例○箇条書き、矢印や図形等を使った表現	伝えたいことが整理されているが、文字数が多く読みにくい 例×文章が羅列されている	伝えるべき情報が整理できていない 情報が多すぎる
	図表 ⑥写真 イラスト	聞き手が見やすいようにデザインが工夫されている 例○見やすい大きさ、配置、配色	伝えたいことが視覚的にイメージできるよう効果的に図やイラストが用いられている	内容に関連する図や写真を使っているが、配置や配色が考慮されず、かえって見づらいものになっている	まったく使っていないか、伝えたいことに関連のない図やイラストが記載されている
口頭発表	⑦話す内容	聞き手に配慮して話す内容を工夫している 例○聞き手の理解度に合わせた説明や補足	論理展開を意識した説明ができている 例○1つ目の問題点は～、したがって等	論理展開を意識した説明ができていない 例×だらだらと説明している	話す内容を考えていない 準備不足が見受けられる
	⑧話し方	聞き手に配慮した発表になっている 例○ポイントを指し示す、ページ数を言及する、質問するなど	堂々と落ち着いて発表できている 例○聞き手を見ながら話している 声が大きくメリハリがある	原稿をただ読んでいる、聞き手をみていない 例×原稿ばかりみている	発表が聞き取りにくい 例×声が小さい、早口、下を向いている
	⑨協働	全員が協力して準備を行い、チームとしてよい発表ができている 例○互いにフォローする	発表全体の流れや内容を全員が理解しており、一貫性や統一性がある	発表に一貫性や統一感がなくバラバラである	発表内容を理解していない人がいる 一部の人に責任や役割が偏っている
内容	⑩主張	これまでの先行研究を批判的に検討した上で、具体的な問いが立てられており、自分なりの考えを述べている	問い（目的）と主張（結論）が対応しており、内容が一貫している	問いが明確に示されているが、主張（結論）が問い（目的）に対応していない	問いが不明確である
	⑪根拠 ※論証型	異なる主張について比較、検討されており、限界点を踏まえた上で、自らの主張に対する意義や価値について具体的に考察している	全体的に適切な根拠に基づいて主張を述べている	客観的な根拠に基づいて主張を述べているが、不足/不適切なところがある 例×根拠がない、論理の飛躍、矛盾 過大な主張	全体的に、客観的な根拠に基づいて主張を述べていない
	⑫結果と考察 ※実証型	結果に基づいて具体的に考察され、限界点を踏まえた上で、結果の意義や価値について具体的に示している	結果:データを適切に読み取り、事実に基づいて客観的に結果を述べている 考察:結果に基づいた考察を述べている	結果:結果について述べているが、データの不正確な読み取りや主観的な感想が混在している 例×「予想外に多かった」等 考察:結果に基づいていない飛躍した考察がある	結果:データをただ羅列している 考察:結果の提示で終わっており、考察がない
情報	⑬収集	テーマに関する内容を十分に理解し、主張を述べる上で適切な情報が集められている 例○テーマに関する重要な文献、最新の研究、データ	複数の信頼性の高い資料を用いており、テーマに関する情報が十分に調べられている 例○学術論文（◎査読付き） 専門書、公的資料等	テーマに関する情報が十分に調べられていない 例×参考（引用）文献が一つしかない インターネット上の情報しかない	参考（引用）文献がない、もしくは参考(引用)文献として信頼性の低い資料が用いられている 例×Wikipedia、ブログ、まとめサイト、孫引き
	⑭引用	主張を裏付けるために必要な引用が効果的になされている 例○裏付けとして適切な情報が引用されている 不要または意図が読み取れない引用がない 前後の文脈に合わせて引用されている	適切な方法で引用され、引用箇所が明確である 例○直接引用：引用箇所を「 」でくくる	引用されているが方法が不適切なところがある 例×間接引用が長すぎる	出典が不明確なところがあり、剽窃（コピペ）が疑われる

※専門分野や課題によって求められるものが異なる場合があります。必ず教員の指示を確認してください。　東北学院大学ラーニング・コモンズ「コラトリエ」　2019.07

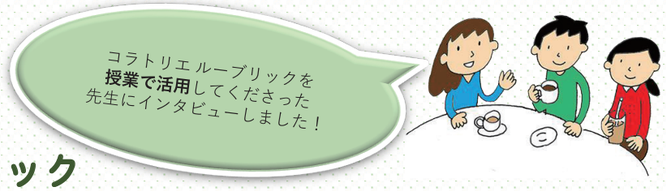
ルーブリックは、成果物を点検することで課題の質を高めることを目指しています。

チェックリストには、前提条件を整理しているので、レポート提出前や発表前の確認にも有効です。

●プレゼンテーションチェックリスト

	観点	内容
1	準備	発表目的や聞き手、人数、会場の大きさなどを想定しているか
2		発表機材の種類やバージョンを確認しているか 例）PCの出力形式、HDMI、RGB（VGA）
3		手持ち資料や配布資料を印刷しているか
4		発表データを準備しているか例）最終版のデータ、他のファイル、データの複製を用意しているか
5		時計、ポインタ、筆記用具など、発表に必要な道具を準備しているか
6		質問されたときに対応できるよう準備しているか
7	時間	発表時間が適切か
8	体裁	表紙に発表タイトルと発表者の情報を書いているか
9		スライド番号を書いているか
10	参考文献	引用・参考文献をすべてリストに挙げているか
11		脚注、参考文献リストの書き方を統一しているか ※書式は、分野ごとに異なります。該当する分野の文献リストを参考にしましょう
12		インターネット上の文献を参照した場合、閲覧日を記載しているか
13		参考文献リストの順（著者名50音順・アルファベット順など）を統一しているか
14	グループ発表	事前に準備を打ち合わせしているか 例）最終版のデータを共有しておく、資料準備の役割分担など

コラトリエ ルーブリックの活用事例



●ライティングルーブリック

授業概要：　文学部 教育学科「研究発表の技法（必修）」1年生、5クラス、計58名
課題内容：　フィールドワークでの調査報告レポート（3000字程度）
活用方法：　学生は、コラトリエが実施する「**ルーブリックを活用したライティングセミナー」を受講**した上で、ルーブリックを自己点検ツールとして活用。
教員は、チェックリストとルーブリックの**一部を成績評価**に活用。
効果/課題：セミナーを受講してからルーブリックを使ってレポートを書き始めたので、学生はどういったことに気を付けるのか理解して書くことができたと思います。また、学生に対して共通の観点を周知できたので、それを踏まえて、個別指導ができました。さらに、同一科目を複数教員で担当していたので、**指導内容を共有**するという点でも活用できました。一方、学部や学科の特性が求められる、情報検索スキルや参考文献リストなどについては、授業での解説や資料の提示など、**他の教材と組み合わせて**活用することが必要です。

文学部 教育学科　稲垣忠先生

●プレゼンテーションルーブリック

授業概要：　文学部 総合人文学科「人文学演習Ⅰ・Ⅱ（必修）」3年生、13名
課題内容：　卒業論文に向けた研究構想（発表30分、質疑15分）
活用方法：　授業の内容に合わせてプレゼンテーションルーブリックを**加筆・修正**して活用。
初回授業時にルーブリックを**学生に配布**。同一科目を担当する教員間で共有し、発表の事前指導や成績評価、学生へのフィードバックにも活用。
効果/課題：ルーブリックがあることで具体的な指導が可能になりました。また、授業の**担当教員間や学生と共通見解**が持てたので、事前指導やフィードバックにも活用できました。さらに、**1年間継続して活用**することで、学生の成長も確認することができました。今回の発表では、1冊の資料をどれだけ批判的に読み深められるかが重要になるため、批判的に読めているかや、内容理解、説明の妥当性などについては別途確認する必要がありました。
今後、学生同士の相互評価にも活用してみたいです。

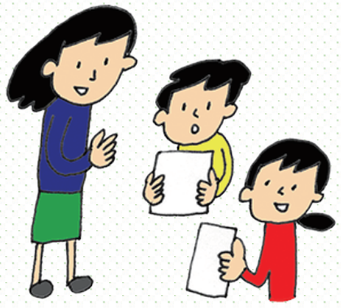
文学部 総合人文学科　阿久戸義愛先生

授業概要：　法学部 法律学科「法学部生入門（選択必修）」1年生、374名
課題内容：　「報告型」レポート（3200字程度）
活用方法：　授業の内容に合わせてライティングルーブリックを**加筆・修正**し、学生の自己点検ツールとして活用。ルーブリックは学生に**2枚ずつ配布**し、1枚は自作テキストへの貼り付け用、もう1枚は自己点検後にレポートに添付する提出用とした。
効果/課題：ルーブリックにはレポート作成に必要な観点が明示されているため、レポート作成の際の具体的な注意点を学生自身が認識できる点がよいと思います。
また、教える側としては、レポートの書き方すべてを授業内で説明できるわけではないため、ルーブリックの利用が**授業を補助する手立て**となりました。
他方で、1枚の用紙に情報が詰まっているために、学生によっては、小さな文字での細かな確認に心理的抵抗を感じたようでした。そうした注意点が「なぜ」あるのか、**配布時に説明**することが必要です。

法学部 法律学科　松浦陽子先生

授業概要：　文学部 歴史学科「研究発表の技法（必修）」1年生、157名
課題内容：　歴史に関連するテーマの報告（発表5分、質疑3分）
活用方法：　プレゼンテーションルーブリックを自己点検ツールとして活用。
活用の際には、**発表の見本動画**を見た後、ルーブリックの「できている」「基本を確認しよう」欄を確認し、教員が動画を踏まえてポイントを解説した。
効果/課題：プレゼンテーションはデザインなど見た目に注目しがちですが、ルーブリックを用いることで、**他にどういった観点があるのか**把握することができます。
また、ルーブリックを配布することで授業で説明しきれないところも提示できるため、**学生の自主学習の教材**としても活用できます。コラトリエのルーブリックでは「できている」がまず目指すべき点として強調されていますが、**学生の状況に合わせて**授業で工夫して活用できるようになっていると、より授業で利用しやすいと思います。

文学部 教育学科　佐藤正寿先生



他にも、学生同士で
レポートや発表の
ピアレビューにルーブリック
を活用した授業も！

授業でコラトリエ ルーブリックを使うには

- コラトリエで入手 or コラトリエHPから**ダウンロード**
- 授業に合わせて**アレンジOK！加工用Excelデータ**もあります
- 授業でご利用の際は、ぜひ**ご連絡**を（裏表紙の問い合わせ先まで）
- コラトリエでは、ルーブリックを使ったライティングやプレゼンテーションのセミナーを実施しています！ご希望の場合はコラトリエまでご相談ください

●ルーブリックに関する参考資料

・「大学教員のための授業方法とデザイン」
　佐藤浩章（2010）玉川大学出版部
・「大学教員のためのルーブリック評価入門」
　ダネル スティーブンス・アントニア レビ 著、佐藤浩章 監訳（2014）玉川大学出版部
・「『活用する力』を育てる授業と評価 中学校－パフォーマンス課題とルーブリックの提案」
　西岡加名恵・田中耕治 編著（2009）学事出版
・「パフォーマンス評価－子どもの思考と表現を評価する－」
　松下佳代（2007）日本標準
・「アクティブラーニングシリーズ３　アクティブラーニングの評価」
　溝上慎一 監修、松下佳代・石井英真 編（2016）東信堂

●ライティング・プレゼンテーションに関する参考資料

・「この1冊できちんと書ける！論文・レポートの基本」
　石黒圭（2012）日本実業出版社
・「思考を鍛えるレポート・論文作成法　第2版」
　井下千以子（2014）慶應義塾大学出版会
・「思考を鍛える大学の学び入門　論理的な考え方・書き方からキャリアデザインまで」
　井下千以子（2017）慶応義塾大学出版会
・「ピアで学ぶ大学生の日本語表現 第2版 プロセス重視のレポート作成」
　大島弥生・池田玲子・大場理恵子・加納なおみ・高橋淑郎・岩田夏穂（2014）ひつじ書房
・「大学におけるライティング支援　どのように＜書く力＞を伸ばすか」
　関西大学ライティングラボ・津田塾大学ライティングセンター 編（2019）東信堂
・「レポート・論文をさらによくする『書き直し』ガイド 大学生・大学院生のための自己点検法29」
　佐渡島紗織・坂本麻裕子・大野真澄（2015）大修館書店
・「新版　論文の教室　レポートから卒論まで」
　戸田山和久（2012） NHK出版

【問い合わせ先】
東北学院大学　ラーニング・コモンズ「コラトリエ」
土樋キャンパス　ホーイ記念館２F
TEL: 022-264-6570
学習支援用MAIL: colatelier-support@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
コラトリエHP: https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/colatelier/

TOHOKU GAKUIN UNIVERSITY

この冊子は、2019年度 東北学院大学学長教育改革研究助成金「学習支援および授業支援を通じたライティング及びプレゼンテーションルーブリックの活用・評価・改善」の一環として作成しました。